

一橋大学社会科学高等研究院 **EBPM研究センター**は、EBPM研究を推進し、EBPMプログラムと連携しています。

■ 研究員



祝迫 得夫
 IWAISAKO, Tokuo
 経済研究所 教授
 専門分野
 ファイナンス、実証マクロ



植杉 威一郎
 UESUGI, Ichihiro
 経済研究所 教授
 専門分野
 企業金融、中小企業、日本経済



岡室 博之
 OKAMURO, Hiroyuki
 大学院経済学研究科 教授
 専門分野
 産業組織論・企業経済学



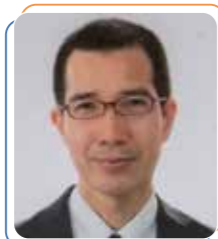
小塩 隆士
 OSHIO, Takashi
 経済研究所 教授
 EBPM 研究センター長
 専門分野
 公共経済学



佐藤 主光
 SATO, Motohiro
 大学院経済学研究科 教授
 専門分野
 財政学



塩路 悦朗
 SHIOJI, Etsuro
 大学院経済学研究科 教授
 専門分野
 マクロ経済学



堀 雅博
 HORI, Masahiro
 大学院経済学研究科 教授
 国際・公共政策大学院 教授
 専門分野
 日本・アジア経済論、計量実証分析



渡部 敏明
 WATANABE, Toshiaki
 ソーシャル・データサイエンス研究科 教授
 専門分野
 計量ファイナンス、マクロ計量経済学

■ シニアアドバイザー



根本 洋一
 NEMOTO, Yoichi
 大学院経済学研究科 特任教授
 国際・公共政策大学院 特任教授
 専門分野
 国際金融、東アジア経済、通貨危機防止の地域的枠組み



森川 正之
 MORIKAWA, Masayuki
 経済研究所 特任教授
 専門分野
 経済政策、日本経済、応用ミクロ経済学



中澤 伸彦
 NAKAZAWA, Nobuniko
 経済学研究科 准教授
 専門分野
 公共経済学、労働経済学、応用ミクロ経済学

お問い合わせ

一橋大学大学院経済学研究科 事務室

..... 大学院入試について

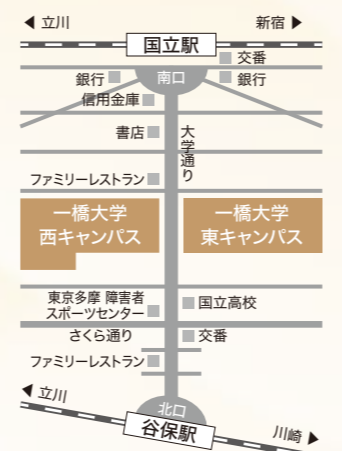
開室時間(9時~12時、13時~17時)
 E-mail: ec-kyomu@econ.hit-u.ac.jp
 〒186-8601 東京都国立市中2-1

..... EBPMプログラムについて

お問い合わせ
 E-mail: ebpm-program@econ.hit-u.ac.jp


アクセス

【国立キャンパス】



- ・JR中央線 国立駅 南口から徒歩約10分
- ・JR南武線 谷保駅 北口から徒歩約20分
- または 国立駅行きバス約6分「一橋大学」下車

【千代田キャンパス】



- ・東京メトロ 半蔵門線
- ・都営地下鉄 三田線/新宿線
- 神保町駅 A8出口から徒歩3分
- ・東京メトロ 東西線
- 竹橋駅 1b出口から徒歩4分

一橋大学大学院経済学研究科
<https://www.econ.hit-u.ac.jp/>



一橋大学大学院経済学研究科
 博士課程 **EBPM**プログラム
 Program for Evidence-based Policy Making

働きながら **EBPM** を学べる
 社会人のための博士後期課程

一橋大学大学院経済学研究科
博士課程 EBPMプログラム
 Program for Evidence-based Policy Making

一橋大学EBPMプログラムは、
 特別選考(AO)による社会人の博士後期課程編入学生を対象にした、
 EBPM(証拠に基づく政策立案)のための
 高度な実証研究を行うことを目的とするプログラムです。

背景とねらい

少子高齢化の進展や産業構造の急速な変化、厳しい財政状況の下で、我が国の政策運営はますます難しくなっています。政策を取り巻く現状や政策課題を的確に把握し、限られた資源の中でできるだけ効果的な、しかも信頼性の高い政策を立案する必要性が高まっています。また、政策効果を客観的に評価し、必要であれば適切に修正する姿勢も求められています。こうした要請に応えるためには、各種統計を積極的に活用したEBPM(証拠に基づく政策立案 ; Evidence-based policy making)を推進する必要があります。

一橋大学では、こうしたEBPMを推進する人材を育成するEBPMプログラムを、大学院経済学研究科の博士後期課程に新設しました。すでに修士号を取得し、中央官庁や研究機関、シンクタンクなど社会の第一線で活躍されている社会人の方を対象として、EBPMのための高度な実証研究を行うための専門的な知識を習得していただくためのプログラムです。

特徴

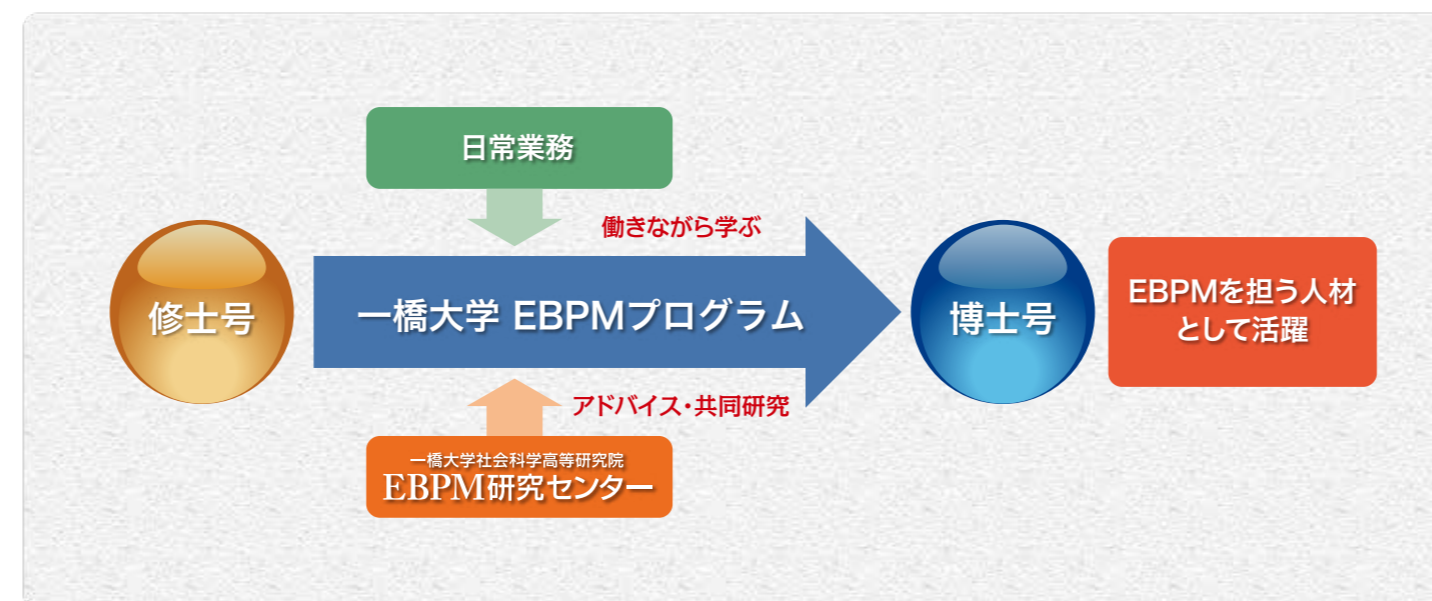
- 日常業務と両立しながら学べる**
 平日夜・千代田キャンパス(竹橋)での開講とオンライン授業の併用(EBPM概論)、指導教員による柔軟な指導など、日常業務と両立しながら無理なく博士号取得を目指す、柔軟な履修プログラムを用意しています。
- 高度で多彩な専門科目を履修**
 EBPMに関する高度で多彩な専門科目を履修できるほか、EBPMワークショップでは最先端の研究成果に触れられ、議論に参加できます。
- 少人数制による密度の高い指導**
 一橋大学の伝統である少人数の演習(EBPM演習)を通じて、高度で密度の高い指導を受けます。社会人院生は、無理のない受講の仕方を指導教員と相談して調整できます。
- 豊富な知識や経験を持つスタッフ**
 社会科学高等研究院(HIAS)のEBPM研究センターの研究員を始め、EBPMに関する豊富な知識や経験を有する数多くのスタッフによる指導を受けられるほか、共同研究の場も提供します。

EBPMプログラムに応募するには

- EBPMプログラムに参加するためには、一橋大学大学院経済学研究科の博士後期課程編入学の特別選考(AO入試)を受験し、合格する必要があります。
- 特別選考の受験者には、修士レベルの教育的バックグラウンドに加え、明確な研究テーマと、周到かつ具体的な研究計画を持っていることが強く期待されます。さらに、編入学後に博士論文作成のために必要な研究上のスキルを短期間で身につける心構えも要求されます。
- EBPMプログラムへの参加選考については、入学後に説明します。
- 志願者には、出願に先立ち、本研究科に研究テーマについて指導可能な教員がいることを十分に確認し、事前に該当する教員に連絡を取ることを勧めます。EBPM研究センター所属の研究員(P.5)が、必要に応じてご相談に乗ります。

EBPMプログラムを修了し、博士号を取得するには

- 博士後期課程に3年以上在学し、所定の授業科目を履修して20単位以上を取得するのに加え、学位論文を提出しなければなりません(特に優秀と認められた場合は、特例として在学期間の短縮が認められます)。
- 「EBPM概論」(必修・2単位)、「EBPM演習」(必修・6単位×3年間)のほかは、自由に授業を履修できます。ただし、「EBPMワークショップ」に参加し、研究報告を年1回以上行うことが求められます。
- EBPMプログラム修了時には、博士学位とともにEBPMプログラム修了証書が授与されます。



一橋大学 EBPMプログラムの概要

本プログラムは、すでに修士号を取得し社会の第一線で活躍されている社会人の方を対象に、EBPMのための高度な実証研究を行うための専門的な知識を習得していただくために大学院経済学研究科の博士後期課程に新設されたプログラムです。

